事業シート（令和9年度予算）

事業名	11100　営業費用(管きょ費、処理場費、総係費、減価償却費他)			予算	会計	17	下水道事業会計
					款	1	下水道事業費用
					項	1	営業費用
担当課	水道部　下水道課	内線	2264		目		

総合計画	重点戦略	方向性		
		ポイント		
	分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観
		施策分野	(5)	上水道・下水道

根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。
概要	・施設の定期的な調査・清掃・保守点検を実施し必要に応じて修繕を行う。 ・専門的知識を有する業者に排水処理施設の運転管理を委託する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥（産業廃棄物）を適切に処理する。 ・受益者分担金・負担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う。 ・下水道接続率の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と広報・戸別訪問等による水洗化啓発を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
生活排水処理率	94.5%		95%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		3,332,929	3,211,205	3,296,203			
特定財源	国費（　社会資本整備総合交付金 1/2　）	51,000	25,713	20,000			
	県費（　　）						
	起債（　　）						
その他財源		3,281,929	3,185,492	3,276,203			

新規・拡充	主な事業内容						
○	管きょ施設の維持管理	198,984	186,530	204,195			
	処理施設の維持管理	904,039	857,922	1,026,260			
	減価償却費	1,953,440	1,947,928	1,929,096			
	資産減耗費	196,919	158,805	99,177			
	マンホールカードの製作	400	396	400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 増減 (d)-(c)
			3,526,000
3,370,948			74,745
43,161			23,161
3,327,787			51,584

要求額	説明
247,539	
1,055,600	
1,896,017	
39,594	
594	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・下水道料金現年度分収納率　99.39% ・負担金現年度分収納率　100.00% ・分担金現年度分収納率　99.19% ・経費回収率　81.35% ・水洗化人口　71,979人 ・有収率　72.05% ・管きょ修繕　　62ヶ所 ・処理施設修繕　70ヶ所 ・市広報紙による水洗化啓発の実施
評価等	・観光需要により下水道使用料収入は微減にとどまっているが、依然として営業損失を計上している。 ・料金収入の確保と負担の公平性の観点から、料金滞納の未然防止に努めるとともに、適切な債権管理を行う必要がある。 ・管きょ修繕等により、有収率の向上に努める必要がある。 ・下水道事業の経営安定化を図るため、生活排水処理率のさらなる向上を目指し、引き続き下水道接続の啓発活動を行う必要がある。
次年度以降の考え方（担当課）	・汚水の適正処理による快適な生活環境と流域の良好な水質確保のため、不明水調査や管きょ修繕等による有収率の向上に努める。 ・料金滞納の未然防止に努め、収納率向上により資金を確保する。 ・汚水処理の最新技術導入の検討等、徹底した経営の効率化を図る。 ・下水道使用料の値上を含めた営業収益の改善を検討する。

☑ 維持・改善
☐ 拡大
☐ 縮小
☐ 廃止検討
☐ R7完了
☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	

☐ 維持・改善
☐ 拡大
☐ 縮小
☐ 廃止検討
☐ R8完了
☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	12100　営業外費用(預託金、支払利子、消費税他)			予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性		
					款	1	下水道事業費用			ポイント		
担当課	水道部　下水道課	内線	2264		項	2	営業外費用		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観
					目					施策分野	(5)	上水道・下水道

根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。	概要	・下水道接続率の向上のための水洗便所等改造資金融資預託金 ・下水道施設整備に伴い起こした企業債の利息　等

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
生活排水処理率	94.5%		95%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		231,229	222,270	194,874			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	起債（　）						
その他財源		231,229	222,270	194,874			
新規・拡充	主な事業内容						
	水洗化資金融資預託金	6,000	1,600	6,000			
	地方債利子	186,154	182,382	163,586			
	消費税	37,675	37,674	24,888			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算		実施計画額	－
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
162,733			△ 32,141
162,733			△ 32,141
要求額	説明		
7,000			
148,538			
6,465			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・下水道施設整備に伴い起した企業債の利子償還 ・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託	
評価等	・企業債の発行額について企業債元金償還金を下回るように努めていることに加え、企業債の利率が低利となっているため、利子負担は軽減されている。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き、企業債の発行額について企業債元金償還金を下回るよう計画的な資金調達に努め、利子負担の軽減を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	21100　管きょ施設費			予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
					款	1	資本的支出			ポイント				
					項	1	建設改良費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
担当課	水道部　下水道課	内線	2264		目	1	管きょ施設費			施策分野	(5)	上水道・下水道		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。	概要	・老朽化した管きょ施設を計画的に更新する。 ・下水道接続の希望者に対し、下水道本管までの管きょ整備を行う。 ・下水道処理区域の再編整備を行う。 ・下水道管理システムデータ（下水道GIS）の整備を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
生活排水処理率	94.5%		95%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		345,933	184,634	319,069			
特定財源	国費（　社会資本整備総合交付金 1/2、農業農村整備事業補助金 1/2　）	107,750	56,993	92,400			
	県費（　　）						
	起債（　市債　）	141,200	54,700	177,000			
その他財源		96,983	72,941	49,669			
新規・拡充	主な事業内容						
	汚水管きょ布設、マンホール蓋取替	185,000	53,676	238,000			
	下水道処理区域再編整備	38,000	27,552	50,000			
	下水道管理システムデータ（下水道GIS）の整備	118,842	100,841	27,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	335,000 増減 (d)-(c)
359,321			40,252
91,000			△ 1,400
233,800			56,800
34,521			△ 15,148

要求額	説明
236,000	
118,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・マンホール蓋の更新整備　29箇所 ・中継施設の設備更新　12箇所 ・処理区再編整備工事（農集北平）の実施 ・下水道管理システムデータ（下水道GIS）の整備（R6-R8継続費）	
評価等	・下水道ビジョン及び下水道事業ストックマネジメント計画に基づき、マンホール蓋の更新や中継施設の設備更新を計画的に行った。 ・投資効果が高く実効性のある処理区の統合を実施した。 ・下水道管理システムデータ（下水道GIS）の整備を行った。（R6-R8継続事業）	
次年度以降の考え方（担当課）	・老朽化した管きょ施設の計画的な更新をすすめる。 ・関連事業に同調した未整備地域の解消をすすめる。 ・他の処理区統合に向け詳細な検討をおこなう。 ・下水道管理システムデータ（下水道GIS）の整備をすすめる。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・老朽化した管きょ施設の設備更新に必要な経費を計上 ・処理区域再編整備に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	21200　処理場建設費			予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
					款	1	資本的支出			ポイント				
					項	1	建設改良費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
担当課	水道部　下水道課	内線	2264		目	2	処理場建設費			施策分野	(5)	上水道・下水道		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の維持向上を図る。	概要	・宮川終末処理場の計画的な耐震化整備を実施する。 ・宮川終末処理場の老朽化した設備及び機器の計画的な更新工事を実施する。 ・特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化計画に基づき、老朽化した施設や機器の計画的な更新工事を実施する。 ・農業集落排水施設・設備の機能診断結果に基づき、老朽化した施設や機械の計画的な更新工事を実施する。 ・排水処理施設の耐震工事を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	90.9%		↗
下水道処理施設数	47施設		45施設

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		203,670	95,470	218,810			
特定財源	国費（　社会資本整備総合交付金 1/2、農業農村整備事業補助金 1/2　）	78,500	20,276	101,500			
	県費（　　）						
	起債（　市債　）	112,200	66,700	74,300			
その他財源		12,970	8,494	43,010			
新規・拡充	主な事業内容						
	処理場の耐震化整備			65,000			
	処理施設の長寿命化	201,000	92,894	151,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	305,000 増減 (d)-(c)
181,812			△ 36,998
23,000			△ 78,500
140,500			66,200
18,312			△ 24,698

要求額	説明
179,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・公共下水道処理場の長寿命化を図るための設備更新の実施　N＝　1処理場 ・特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化を図るための設備更新の実施　N＝ 1処理場 ・農業集落排水処理施設の長寿命化を図るための設備更新の実施　N＝ 10処理区 ・小規模集合排水処理施設の長寿命化を図るための設備更新の実施　N＝ 1処理区	
評価等	・下水道ビジョン及び下水道事業ストックマネジメント計画の方針に基づき、計画的な設備更新を実施している。 ・施設の多くが供用開始後相当の年数が経過し老朽化が進んでいるため、予防保全による安定した処理機能の保持が重要である。	
次年度以降の考え方（担当課）	・施設や設備の重要度に合わせ、予防保全と対処保全の組み合わせにより、更新工事を実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・老朽化した処理場施設の設備更新に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	